



本紙第 11 号では、2013 年度の学習支援と進路相談の状況のまとめをお伝えします

2013 年度 ASC 利用状況

今年度の学習サポート利用者数は延べ2795人(2月末時点)で、昨年度の2577人を200人以上も上回る盛況となりました。科目毎の内訳は、昨年度とほぼ変わらず、数学38%、物理21%、化学11%、実験レポート11%、その他19%となりました。試験が近づいてからようやく



学習サポート室の様子(12/16)

質問が増えてくる傾向が見られた年でした。

学習支援の一環として今年度から始まった「英語コミュニケーション」と「物

理学初級ゼミ」は学生から好評価を得ました。

留学生チューターを5、6人の学生で囲み、英会話の場を提供する「英語コミュニケーション」は、一年を通じて延べ83人の参加がありました。リピート率が高い反面、参加者が固定化する傾向があり、より多くの学生に参加を促すのが今後の課題です。

「物理学初級ゼミ」では物理学Ⅰ、Ⅱ履修者を対象に基礎事項、典型問題の解説を行い、延べ215人の参加がありました。学生の理解度に合わせて、より内容を充実させるのが課題で、今後は化学や数学など他教科についても同様の支援を始めることを考えています。

一方、進路・修学相談は昨年度よりやや少ない延べ506人(2月末時点)の利用がありました。一年生の利用だけでなく、学部

生の利用が増加傾向にあります。移行先の学部学科の勉強について行けない、転学部を考えている、単位が足りているか見て欲しい等の相談が多く寄せられました。

アカサポ進路相談会

2月6日の学部・学科等紹介で進路相談会を実施し、初の試みとして、ピア・サポ×アカサポ合同企画「移行の疑問、先輩に聞いてみよう」を開催しました。

この企画は、総合入試で入学し、移行を経験した先輩学生が、経験談を紹介し、学生からの質問に答えるというものです。移行を控えた1年生が身近な先輩に疑問を聞く機会を提供するという趣旨で行われました。今回はピア・サポート室のご協力を頂き、3人の学部学生に経験談を話してもらいました。参加人数は延べ8人で、小規模ながら中身の濃い質疑応答が行われました。

アカサポでは今後も様々な進路相談に関するイベントを行う予定です。皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。



進路相談会での一幕(2/6)

スタッフの心象 第4回「わからないの3法則」

このコーナーではアカサポに寄せられる進路・修学・学習相談の内容を元に、相談現場の様子をお伝えします。

アカサポで行っている学習相談では年々、相談に訪れる学生の数が増えている。

勉強の質問対応をやっていると、1年生の「わからない」にも法則があることに気づく。解らない理由がちゃんとあるのだ。ニュートンの運動の3法則に倣って、ここでは「わからないの3法則」を提唱してみたい。

第1法則は「単語を理解していない」だ。「与えられた空間が部分空間であることを示せ」という線形代数の問題を前にして、部分空間の定義を知らずにわかりませんと質問してくる。新生に多いのがこのパターンで、わからないのは当然だ。

第2法則は「すぐわかろうとする」だ。要するにせっかちタイプである。じっくり着実に思考を進めるということ

が出来ず、すぐにわからないと言ってくる。しかも対応者が要点を把握するのに手間取ると「この人もわからないに違いない」と判断してくることがあるので注意が必要だ。

第3法則は「読めない・聞けない」だ。問題文を読めていないし、人の話も聞けないので教わるのも下手。このタイプの対応をするのはなかなか大変である。

第0法則「自分でわかろうとしていない」は置いておいて、ここでは日夜「わからないの3法則」と闘っている。その甲斐あってか、2学期の終盤になると、入学時より質問の仕方に改善が見られる学生もいる。嬉しい限りだ。



アカサポ・コラムはASCスタッフの生の声をお届けします。第7回は、今年度限りでASCを退職するスタッフによるコラムです。

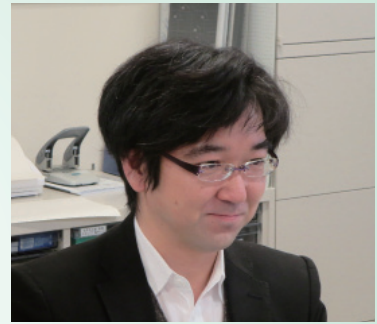
「アカサポは進化している」

ASCスタッフ 日吉 大輔

私はアカサポが出来た頃から勤務しているのですが、振り返ってみると、今のアカサポは良い場所にあるなあ、と思います。アカサポは現在、E棟から北図書館へ通じる通路近くにありますが、4年半ほど前に活動を始めた当初は、E棟3階の小さな教室を使わせてもらっていました。講義が行われる教室の並びに、アカサポが唐突に存在していたの

で、普通の教室と間違えて入ってくる学生さんもいました(笑)。その頃と比べると、現在は隣に学習サポート室もありますし、アカサポは進化していると思います。

活動面でも、特に今年はスタッフの人たちが、講演会の企画を立てたり、新しいセミナーをどんどん行ったりして、とても充実していると思っています。



私はこの春で退職して研究生生活に戻りますけれども、アカサポがきっとこれからも進化を続けて学修支援を充実させてくれるだろうと期待しています。

「今年度を振り返って」

ASCスタッフ 山畑 倫志

昨年度からアカサポの業務に関わり、語学のサポートや移行関連の分析に従事しておりました。総合入試制度の開始後間もない時期のため、学生・教職員の方々ともどもこの新制度の活用にも苦労されていたことを覚えております。

最近の学習・進路相談について感じることは、相談者や相談内容の多様化です。以前に利用いただい

た学生の方々の再訪問、基礎科目や外国語科目などの幅広い質問をいただいています。

ただ、進路相談については移行先についての情報を求める相談がまだ少ないように思えます。アカサポでは学部学科の情報を得るための様々なアクセス手段を提供していることを周知する活動が依然として重要です。



これからもできる限り皆さんの要望に応えられるよう、体制を整えていきます。4月以降移行先が決定した後でも学習や進路について困ったことがあればぜひアカサポにいらしてください。

編集後記

2014年度もアカサポをよろしくお祈いします

これまで蓄積した学生支援の情報とノウハウをもとに、より多様化・効率化したサポートを展開していきます。また、連携体制も強化・拡充する予定です。

今後とも皆様、一層のお力添えをいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

2014年度第1学期活動予定

- 進路・修学・学習相談：1学期開始時より対応
- 学習スキルに関するセミナー：4月下旬以降開催予定（詳細等後日HP等で掲示致します）

アカデミック・サポートセンター

〒060-0817

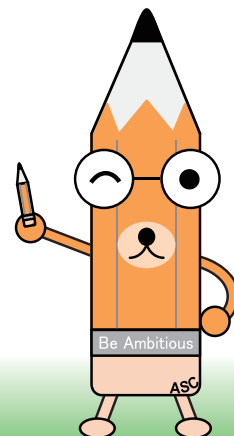
電話：011-706-7526

札幌市北区北17条西8丁目

E-mail: asc@high.hokudai.ac.jp

北海道大学高等教育推進機構2階

URL: http://asc.hokudai.ac.jp/



次号は6月発行予定です